

■発行/ごみ減量対策課 〒192-8501 元本郷町三丁目24番1号 ☎620・7256(直通) FAX626・4506
■ホームページアドレス<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/gomi/index.html>

▶「ちゃんと分別しているから、うちの可燃ごみはいつもこんなに少ないし、たまにしか出さないよ」と、市内在住の夏末ちゃんと彩貴ちゃん。



まだまだ減らせる 可燃ごみ

埋め立てゼロをめざします

もくじ(主な内容)

- P2 正しく分別すれば…可燃ごみは半分に減らせます!
・可燃ごみ収集車の火災が多発
- P3 危険物は絶対に入れないで!
・生ごみをたい肥にしてみませんか
- P4 資源物の持ち去り者を告発
・7～9月はペットボトルを毎週回収 など

市では平成22年10月から、**②**マークのついた「容器包装プラスチック」すべてを資源化し、**④**マークのついていないプラスチック製品を可燃ごみとしたことから、可燃ごみの量は減少しました。

しかし、収集された可燃ごみの中身を分析してみると、プラスチックなど、可燃ごみ以外のものが約5割出されています。(詳しくは2ページをご覧ください。)

これらを分別して資源物や可燃ごみとして出していただくことで、可燃ごみはまだ減らすことができます。

正しく分別している市民の方からは、「可燃ごみは少ないので、台所にあった可燃ごみ用のごみ箱を無くして、容器包装プラスチック用にしました。」「可燃ごみは2、3か月に一度、一番小さい袋で出すくらいです。」といった声が寄せられています。

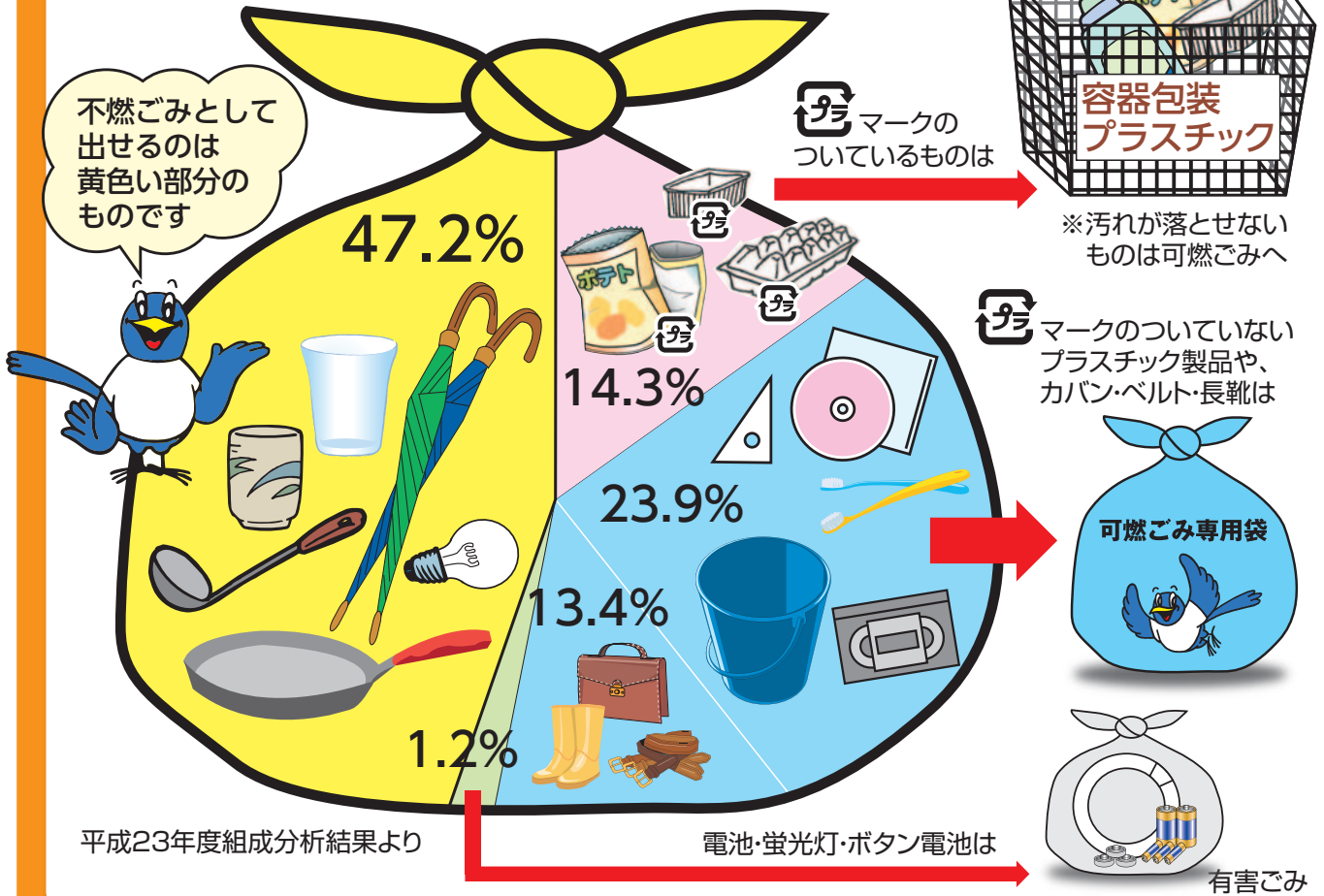
皆さんに減量していただくとともに、収集した可燃ごみを資源化することで、西多摩郡日の出町の最終処分場の埋め立てゼロをめざしていきます。

可燃ごみの分別にご協力を

正しく分別すれば… 不燃ごみは半分に減らせます!

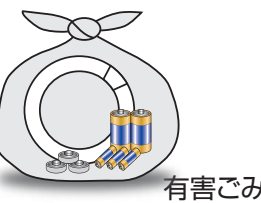
不燃ごみの中身を見ると、多くの容器包装プラスチックや可燃ごみが混ざっています。
下の絵を参考に、正しい分別にご協力ください。

不燃ごみ専用袋



※汚れが落とせないものは可燃ごみへ

マークのついていないプラスチック製品や、カバン・ベルト・長靴は



「スプレー缶」など、
貼り紙をして
出してね!



▲実際に発生した火災の消火作業の様子

これらのは、必ず使い切ってから、不燃ごみの袋に「スプレー缶」や「ライター」と表示した紙などを貼って出してください。



カセットボンベ、スプレー缶などの中身が残っているため、ガスが漏れて引火し、車両火災が多発しています。

不燃ごみ収集車の 火災が多発



危険物は絶対に入れないで!

回収された容器包装プラスチック チックの中に危険物が

回収された容器包装プラスチックは、戸吹にあるプラスチック資源化センターで作業員が手作業で異物を選別しています。

しかし回収したもののの中には、不燃ゴミである包丁やハサミなどの危険物が混入されていることがあり、5月には、注射針で作業員がけがをする事故が発生しました。

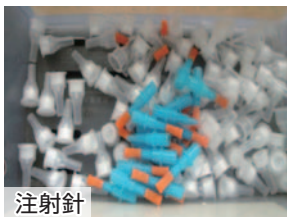
けがや二次感染につながるこのような危険物は絶対に入れないでください。



手選別作業



包丁やハサミなど



注射針

生ゴミをたい肥にしてみませんか

可燃ゴミの約半分が生ゴミです。生ゴミをたい肥にすると、可燃ゴミの袋を買う負担が半分になります!

生ゴミ処理機器などの購入費への補助を拡充しました

市では家庭用機械式生ゴミ処理機、コンポストなどの機器を購入した世帯に対し購入費の一部を補助しています。

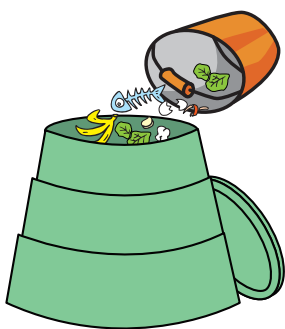
今回、ダンボールコンポストや発酵促進剤も新たに補助対象になりました。

【補助を拡充した点】

- ①ダンボールコンポストは年度内4セットまで補助対象です(補助率1/2)。
- ②コンポスターなどとあわせて購入した発酵促進剤も補助対象です(補助率1/2)。
- ③市の主催又は後援によるダンボールコンポスト講習会に参加した方が、ダンボールコンポストを購入した場合、初回に限り購入費を1セット分補助します。

※送料等は補助対象外です。

※補助金の額には上限があります。



ダンボールコンポスト講習会(アフターフォロー)を開催します

「ダンボールコンポスト」は、ベランダや軒下にダンボール箱を設置し、発酵促進剤と生ゴミを入れて手軽にたい肥にする方法です。今回の講習会は、6月に開催した講習会のアフターフォローの位置づけで、できたたい肥を持ち寄って、でき具合を比べたり、不安や疑問を解決します。

初めての方もお気軽にご参加ください。初めての方には、ダンボールコンポスト1セット分の購入費を補助します(送料は自己負担です)。

日時・会場 ▼7月15日(日)午前10時～12時：クリエイトホール ▼7月15日(日)午後2時～4時：由木中央市民センター ▼7月29日(日)午前10時～12時：川口市民センター
定員 各70名(先着順)
費用 無料

申し込み 7月10日(火)までに電話でゴミ減量対策課へ

◆申請・申し込み・問い合わせ 生ゴミ減量対策課 ☎620・7256、FAX 626・4506

資源物の持ち去り者を告発 多摩地域で初めて

市は、平成22年10月から資源物の持ち去りを禁止し、市の禁止命令に違反した者には、氏名等を公表したり罰金を科すことができるよう、条例を改正しました。

取り締まりを強化して持ち去り行為の現場を押さえた結果、今までに警告を14件、禁止命令を8件行いました(6月1日現在)。さらに、禁止命令を受けたにもかかわらず違反を重ねた者に罰金を科すよう、4月に南大沢警察署に告発しました。資源物の持ち去り者を警察署に告発したのは、多摩26市で初めてのことです。



▲警察と連携して持ち去り者を指導

7～9月はペットボトルを 毎週回収

夏季はペットボトルの消費量が急増するため、7～9月は毎週回収します。出すときは、中をすすいで、キャップを必ずはずしてください。

なお、はずしたキャップは容器包装プラスチックとしてお出しく下さい。

夏休みに小学生ポスター全作品を掲出

市では小学4年生を対象に、ごみ問題に関するポスターを募集し、毎年3,000点を超える作品が集まります。

ごみ問題や未来の地球などをテーマにした作品をぜひご覧ください。

場所 JR八王子駅北口地下広場

期間 8月1日(水)～9月30日(日)



資源物の集団回収団体に 補助金を交付

市は、資源物を回収する団体にその量に応じて補助金を交付しています。対象は、営利を目的とせず、年に3回以上、市内一般家庭からでる下表の品目を自主的に回収する住民団体(町会・自治会・子ども会など)です。

補助金交付には事前の登録が必要となり、平成23年度は416団体の登録がありました。皆さんの地域でも資源集団回収を始めませんか。

補助金交付対象品目及び単価

品目	単位	単価	品目	単位	単価
新聞紙		7円	生びん ^(※1)		30円
雑誌		7円	雑びん ^(※2)		30円
ダンボール	1kg	7円	スチール缶	1kg	10円
牛乳パック		15円	アルミ缶		30円
布類		7円	金属くず		10円

※1生びん=洗って繰り返し使用できるびん

※2雑びん=ガラスびんの原料、または砕いて路盤材等になるもの

エコショップ探訪記

靴の修理・オーダーメイド・販売
山意堂(さんきどう)
〈店舗情報〉
所在地:緑町770-1
電話:623・6984
<http://sankidoo.com/>



▲見事によみがえった靴底



▲ワークブーツや乗馬靴が並ぶ

愛着のある大切な革靴や思い出のブーツ。底がすり減ったからといってあきらめて捨てていませんか？
そんな時は、靴底の張り替えなどの修理やクリーニングを利用してはいかがでしょう。このお店には特殊マシンや専門的な道具が並び、オーダーメイドの靴や再生品の販売もしています。「気軽に修理や見積もりについてご相談ください。」と靴職人の鈴木さん。

いいものを大切に長く使う。これもエコのひとつですね。

エコショップの概要については八王子市ホームページ、またはごみ減量対策課(☎620・7256)まで。